

鷹取山の8月に咲く花



クサギ

日当たりの良い場所を好み葉を切ると独特の臭いがある。秋に花のような赤い実をつけてきれい。(クマツヅラ科)



ヘクソカズラ

ツル植物で中心部が赤い花をつける。花や葉をもむと悪臭がする。ヤイトバナ、サオトメバナの名もある。(アカネ科)



ヌスビトハギ

夏から秋にかけて花をつける。実の形が盗人の忍び足に似ているので名がついた。実はヒツキムシ。(マメ科)



ヤブラン

林の下に生える常緑の多年草。夏から秋にかけて淡紫色の花をつける。ランといてもラン科ではない。(ユリ科)



ヤブミョウガ

葉がミョウガに似ているのでこの名がついた。夏の日陰の場所で普通に見られる。(ツククサ科)



ミズヒキ

花序がお祝いの水引に似ていて、上からは赤、下からは白色に見える。実はヒツキムシ。(タデ科)



オニドコロ

トコロとはヒゲ根を老人の髭に見立てている。ヤマノイモは食料なるがオニドコロは食べられない。(ヤマノイモ科)



アキカラマツ

秋に咲くカラマツソウでこの名がついている。夏から秋に日当たりの良い場所に普通に見られる。(キンポウゲ科)



キンミズヒキ

夏から秋にかけて黄色い花をつける。花のつき方がタデ科のミズヒキに似ていることからこの名がついた。(バラ科)



クズ

秋の七草。害草として嫌われているが花は美しい。この周辺でもマント群落としてあちこちの林縁で見られる。(マメ科)



ダイコンソウ

根元の大きな葉がダイコンの葉に似ている。黄色の花が終わるとかぎ状の実がヒツキムシになる。(バラ科)



ガンクビソウ

茎の上部で枝分かれし枝先に黄色い筒状花をつける。キセルの雁首に似ているのでこの名がついた。この辺りサジガンクビソウも見られる。(キク科)